

科目名	ネットワーキング I		英文表記	Networking I			22年6月 9日
教員名：角田 正豊 技術支援：釣 健孝							修正
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
メディア情報工学科	4年	選択	学修	2単位	講義	半期	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルータの仕組みと基本動作を理解する。 ・ルーティングプロトコルの種類を理解し、組織に合ったプロトコルの選択・設定ができる ・静的および動的ルーティングの設定ができるようになる。 ・アクセスコントロールリスト設定ができるようになる 						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	メディア情報工学	
	○		◎		JABEE プログラム教育目標	A-2	
授業概要、 方針、 履修上の注意	ルーティング技術を Cisco Networking Academy の online プログラムを利用して学習する。Web 教材を用いて自主的に学習を進めることが基本であり、受身でなく積極的に学習に取り組むことが必要である。						
評 価 方 法	ファイナルテスト 60%、ネットワーク機器設定試験 40%の割合で評価する。						
教科書・教材	CCNA2：ルータとルーティングの基礎 v3.1.1						
参 考 図 書	CCNA1 companion guide 'Routers and Routing Basics' (Cisco Press)						
授 業 計 画							
授 業 項 目		時 間	授 業 内 容				
1. オリエンテーション		2	授業の進め方および評価方法について説明する。				
2. WAN とルータ		2	WAN のルーティングとルータの物理構成				
3. ルータの基本		2	Cisco IOS と CLI				
4. ルータの設定		2	ルータの基本設定				
5. 近接機器の情報収集		2	CDP と telnet				
6. IOS の管理		2	ルータの起動プロセス、及び、IOS と設定の管理				
7. ルーティング		2	静的ルートを動的ルート				
8. ルーティグプロトコル		2	ルーティングプロトコルの種類				
9. ルーティグプロトコル		2	RIP の設定と検証				
10. 制御メッセージ		2	ICMP				
11. ルータのトラブルシューティング		2	ネットワークとルータの試験方法				
12. アクセスコントロールリスト		2	ACL の設定				
13. 機器設定試験		2	ネットワーク機器の設定試験				
14. ファイナル試験の準備		2	練習問題を用いて通年の学習内容を復習				
15. ファイナル試験		2	通年の学習内容理解度を確認する				
前期末試験							
学習時間合計		30	実時間		25		
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 各章でオンラインテスト受験や演習問題を課す。							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）
 通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。